

「業界の現状と課題がわかった」「積極的に取り入れていきたい」など、ご感想をいただいています。

〈第8回パワーアップセミナー報告〉



1日目 こんなにかわった教習所マナー

文教大学国際学部教授 (株)アサップ 取締役社長 山口 一美氏

■15年前の教習所のマナーは今では到底考えられないものでした!

私が関わり始めた当時は「楊枝をくわえて教習し、それを窓からとばす」「コース脇でしゃがんで喫煙」「教習生をどなりつける」などなど、今では考えられないことが日常茶飯事でした。

■ひとりひとりの意識と行動で変わっていった教習所のマナー

研修がスタートしてもすぐには結果が出ませんでした。無反応な人や反抗的な人も多かったです。「研修なんて意味ない」と面と向かっていう人もいました。それでも続けていくうちに「身なりが整う」「ドアが開くと一斉にあいさつする」「送迎バスではお客様が乗ってから、あいさつしながら乗る」など変化がでてきました。研修前に反発した人ほど、マナーの重要性を理解すると協力的になります。その後はそれぞれの学校で「自主的にマナーマニュアルを作る」「マナー向上委員会を立ち上げる」など、どんどん進化しています。

■NPO法人のマナー検定は、無事故社会への第1歩

教習所の仕事はもちろん「優良ドライバーの育成」です。それは交通ルールを守り、マナーの良い運転ができるドライバーを育てること。そのためには、まず指導員自身がマナーの良いドライバーでなくてはなりません。指導員が身をもって「優良ドライバー」として思いやりのある運転のお手本を示すことができ初めて、「事故のない社会」が現実のものとなって行くのだと思います。

そのために検定制度を設けることは、指導員にとって具体的な目標となり、モラルの向上に大いに役立つことと思います。



懇親会ではベリーダンスの大迫力に人気集中!

1日目終了後はお楽しみの懇親会。恒例の轟会×クイズでは、新たにご当地クイズも出題され、熱いバトルが展開されました。後半はベリーダンサーIKUYOさんのステージ。セクシーなダンスの迫力に圧倒されました。最後はお客様も一緒にダンスを。大盛況の中、お開きとなりました。

2日目 教習所の将来を決める3つのポイント

全日本指定自動車教習所協会連合会 専務理事 吉田 英法氏

■高齢者講習は大きなビジネスチャンス

高齢者講習を教習所が受け持つ意味は、ずばり実車。運転適性指導を強化することで事故減少につなげていこうという方針です。認知症の検査結果をどう活かしていくかも今後の課題です。免許返上の相談から指導・訓練まで、高齢者を切り口とした事業分野は教習所にとって大きなビジネスチャンスとなっていくでしょう。

■これからの教習所にとって企業研修は大切な事業分野

免許既得者が魅力を感じる研修とは?企業から見たメリットとは?エコドライブ研修は「燃費が減る」というメリットで導入する企業が多い。企業は今、マイナスの利益をいかに減らすかに目が向いており、そこに応えられる企業研修は需要が増えるでしょう。

■カウンセリングやコーチングの技法で業界のレベルアップを!

このように今後は免許既得者を対象とした教習の割合が増えてきますが、そこで大切なのはインストラクターの教習スキルです。一方的な教育ではなく、「双方向のコミュニケーションがとれる」「話を聞いて共感し、気づかせる」などカウンセリングやコーチングの技法も要求されてきます。教習所での再教育の意義を世間に認知させるよう、業界全体のレベルアップを目指しましょう。

やる気に火が付いたセミナー初参加

鹿沼ドライビングスクール 専務取締役 古澤 正己

入社して1年4カ月の私が初めて参加したパワーアップセミナーでは、参加者の顔ぶれ・緊張感、モノをはっきり言う講師陣など、危機意識という再生へのスタートラインがではじめていて、私も頑張らなきゃとやる気に火が付きしました。感じたキーワードを記して、感謝に変えます。パラダイムシフト・M&A・カテゴリーキラー・社会貢献・考える社員・企業価値の創造・持続可能な会社経営。これらを念頭に62歳からもうひと働きさせて頂きます。羨ましがられる企業に早くなりたい。いや誰かがすでに始めている。

